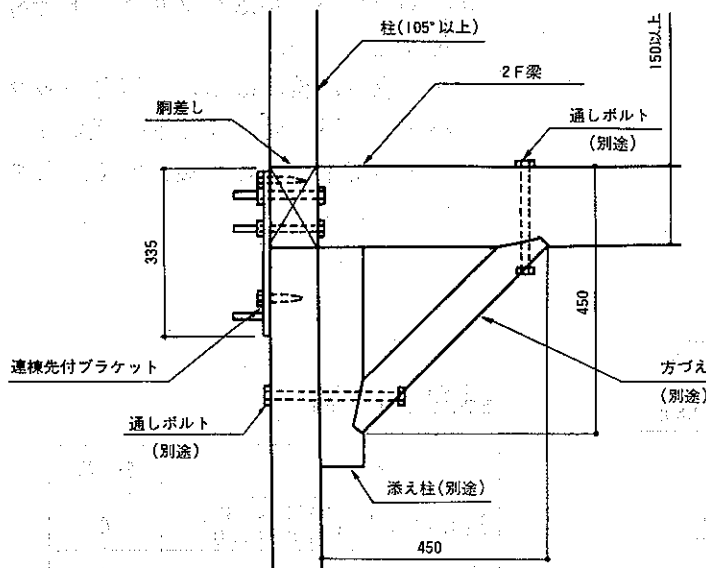


# ウイングタイプバルコニー 連棟先付ブラケット

取説番号 ME-273

この連棟先付ブラケットは、ウイングバルコニー及びプロシード（ウイングタイプ）の取付けに御使用頂けますが、商品によって先付ブラケットの取付け位置が異なりますので、施工する商品を再度確認した上で下記の説明に添って作業を行なって下さい。

## ■ 連棟部柱補強

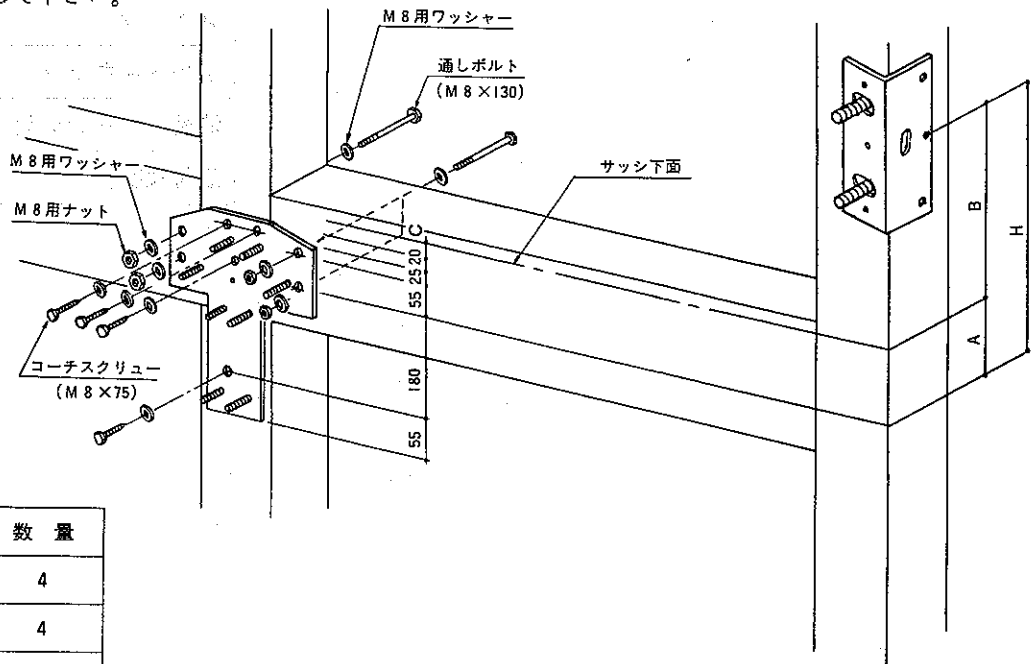


## ■ 注意事項

- 連棟先付ブラケットは、外壁仕上げの前に取り付けて下さい。
- 連棟先付ブラケットは、間柱及び胴差しに取り付けて下さい。
- 連棟先付ブラケット取付け部には左記の様に柱を補強して下さい。  
(補強用の添え柱、方づえ、通しボルトは別途御用意下さい。)
- 壁仕上げの厚みは、  
(ZBA1...12~35mm)  
(ZBA2...30~50mm)  
にして下さい。

## ■ 連棟先付ブラケットの取付

連棟先付ブラケットを通しボルト及び、コーチスクリューで柱及び胴差しに固定して下さい。



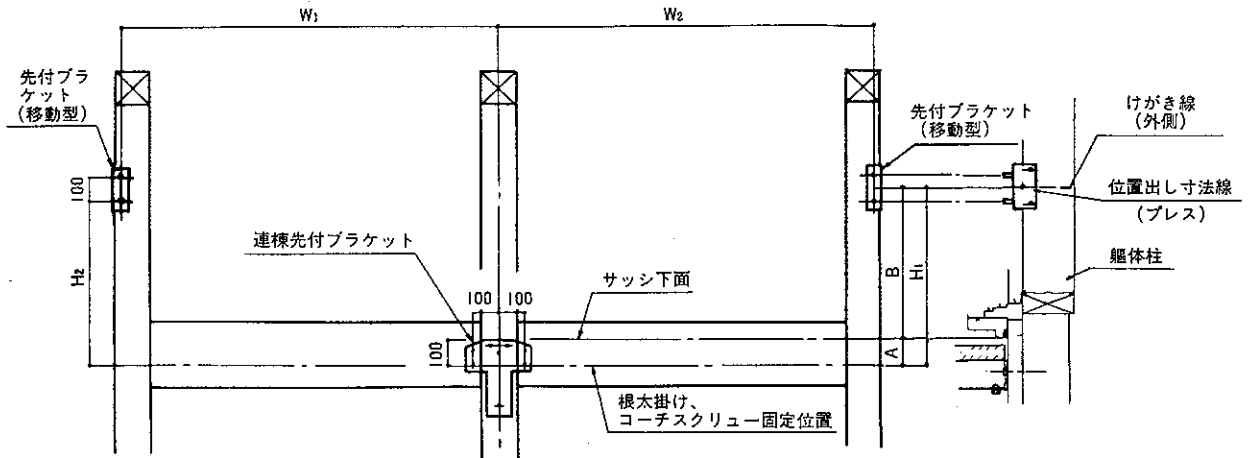
## ■ 内容明細

名 称	数 量
六角ボルト M 8×130	4
コーチスクリュー M 8×75	4
M 8用六角ナット	8
M 8用平座金	12
連結ブラケット	1
取付説明書	1

商 品 名	H	A	B	C
ウイングバルコニー	1095	115	980	15
プロシード (ウイングタイプ)	1090	116	974	16

# ■先付ブラケットの基準取付方法

## ◆ブラケット仕様

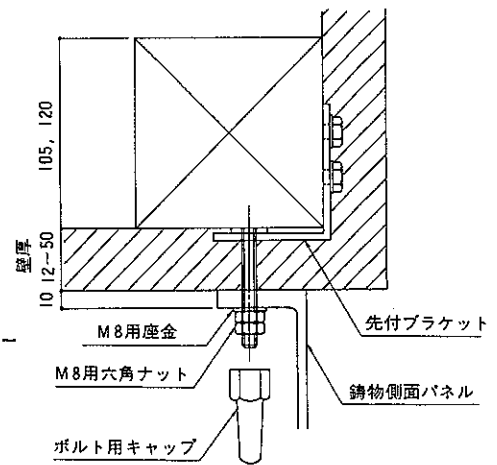
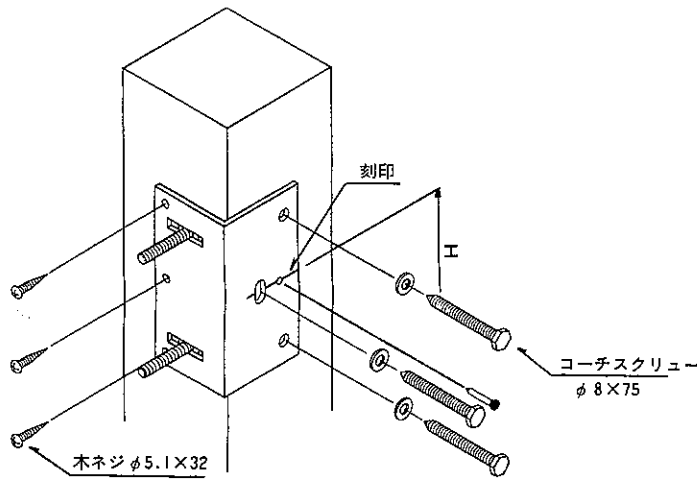


### ウイングバルコニー

柱口	間口	W <sub>1</sub> 、W <sub>2</sub>		
		1.0	1.5	2.0
90	関東間	1836	2745	3654
	関西間	2009	2963	3918
105	関東間	1836	2745	3654
	関西間	2032	2986	3941
120	関東間	1836	2745	3654
	関西間	2054	3008	3963

### プロシード(ウイングタイプ)

柱口	間口	W <sub>1</sub> =W <sub>2</sub>		
		1.0	1.5	2.0
90	関東間			
105	関東間	1843	2752	3661
120	関東間			



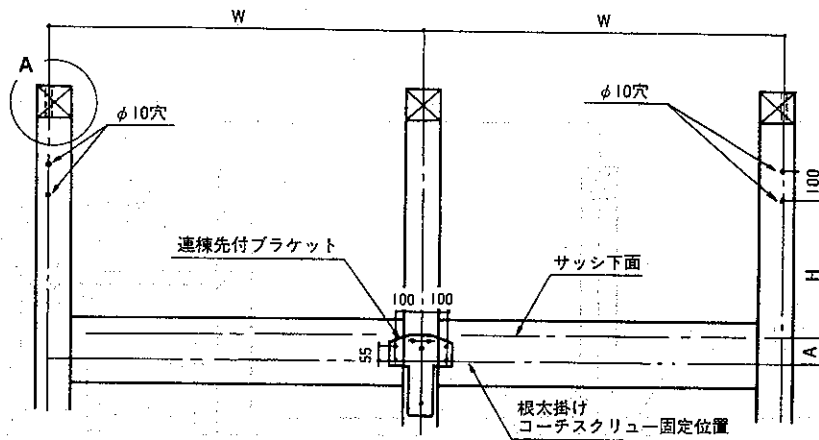
- ① 根太掛け、固定位置よりH<sub>1</sub>mmの高さに躯体柱の外側に左右各1ヶ所ずつけがき線を入れて下さい。  
 (参)この時、サッシ下面とデッキ材上面の寸法が、  
 (ウイングバルコニー.....60mm) と  
 (プロシード(ウイングタイプ)...21mm) となります。

商品名	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	A	B
ウイングバルコニー	1095	1045	115	980
プロシード(ウイングタイプ)	1090	1040	116	974

- ② 先付ブラケットを取り付けます。  
 先付ブラケットの刻印をけがき線に合わせ、釘(別途)で仮止めしてコーチスクリューで固定して下さい。  
 次に先付ブラケットの上下にあいている穴に木ネジを必ず固定して下さい。

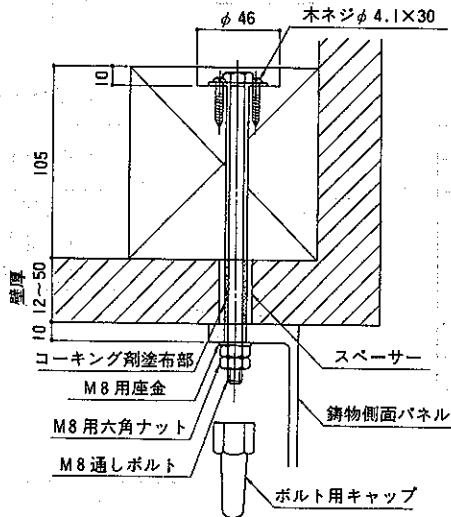
◇ 鋳物側面パネルはダブルナット仕様で取付けて下さい。  
 又、取付け後にはボルト用キャップでカバーして下さい。  
 (ナット仕様になっていますので手で回した後、軽く工具で締めて下さい。)

# ◆通しボルト仕様



**A部詳細図**

コーキング剤を下图の様に充填して下さい。



◇ 鋳物側面パネルはダブルナット仕様で取付けて下さい。  
又、取付け後にはボルト用キャップでカバーして下さい。  
(ナット仕様になっていますので手で回した後、軽く工具で締めて下さい。)

**1** 根太掛け、コーチスクリュー固定位置より  
(ウイングバルコニー…………… 930mm及び1030mm)  
(プロシード(ウイングタイプ)…1040mm及び1140mm)  
の長さで左右各2ヶ所ずつφ10mmの通し孔  
をあけて下さい。

**2** 躯体柱の室内側をφ46mm、深さ10mmにザクリして下さい。ザクリした所に先付け通しボルトを木ネジで固定して、次にスペーサーを差し込んで六角ナットを取り付けて下さい。

商品名	H	A
ウイングバルコニー	930	115
プロシード (ウイングタイプ)	924	116